



平成22年5月28日

各 位

会 社 名 株式会社テーオー小笠原
代表者名 代表取締役社長 小笠原 康正
(JASDAQコード・9812)
問合せ先
役職・氏名 専務取締役 今 野 宮 夫
電話 0138-45-3911

「テーオー・リニューアル・プラン (TRP)」策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成25年5月期を最終年度とする中期経営改善計画「テーオー・リニューアル・プラン (以下、「TRP」)」を策定し、決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 「TRP」策定の背景と目的

本日別途開示しました「特別損失及びたな卸資産評価損並びに平成22年5月期（連結・個別）業績予想、期末配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、当社の平成22年5月期連結業績は、売上高、純利益ともに減収・減益の見通しとなっております。この要因としては、当社を取り巻く事業環境の大幅な悪化のみならず、当社内の事業セグメント、グループ間相互の連携の不足や外部環境の変化への対応の遅れなどが挙げられます。

当社では、これらの課題を解決し、企業収益力の向上及び将来の永続的な発展を図るため、中期経営改善計画「TRP」を策定いたしました。今後、経営陣及び従業員が一丸となり、TRPの実現に向けて邁進してまいります。

2. 「TRP」の基本方針

(1) 新経営体制の構築

- ①円滑な経営承継を図るべく、名誉会長小笠原金悦、取締役会長小笠原孝、取締役副会長小笠原弘、取締役相談役小笠原正は、当社及び当社の連結子会社、関連会社の役員から退任します。
- ②平成22年8月開催予定の定時株主総会後から、「執行役員制度」を導入し、各事業部・部門の責任者を明確に定めます。

(2) グループ組織再編

- ①各事業を統括管理することにより、当社のスケールメリットを生かしたグループ一体の「全社最適」経営の実現を目指します。
- ②グループ各社の組織再編を実施し、各事業の運営主体を明確化することにより、業績管理を徹底します。

(3) 事業の選択と集中

- ①厳しい外部環境を考慮し、事業構造改革として、一部事業、拠点の廃止を行い、存続事業、拠点に経営資源を集中投入します。なお、これに伴い、固定資産等の減損損失、棚卸資産評価損等を計上する見込みです。
- ②主要事業に関する基本方針については、後述します。

(4) ガバナンス強化

- ①グループ全体の統括管理機能（経営企画、経理、総務、人事、不動産管理）を当社に集約し、強化します。
- ②遊休資産等の売却を推進し、財務体質の改善を図ります。

3. 「事業の選択と集中」の基本方針

(1) 木材事業

不採算となっている、製造部門の一部閉鎖及び製造ラインの移転を行い、製造原価の削減及び収益性の向上を図ります。

(2) 流通事業

不採算となっている店舗の「スクラップ&ビルド」を進めます。

(3) 住宅事業

抜本的に事業を見直し、販売用不動産の売却を推進します。

4. 「TRP」による経営目標数値

(単位：百万円)

	平成22年5月期 (予想)	平成23年5月期 目標	平成24年5月期 目標	平成25年5月期 目標
連結売上高	33,184	31,331	30,434	30,172
連結営業利益	106	729	763	813
連結経常利益	25	544	625	689

以上

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。